

共通コンセプト

- ・学校、地域、神社の緑がつながる学校
- ・ラーニングセンター（図書＋学習スペース）を中心に多様な学習を実現
- ・生徒それぞれに好きな場所、好きな居場所がある学校
- ・地域が学校に関わりやすい学校（地域連携が可能な学校）
- ・充実した運動ができる学校（大きな体育館 /145mトラック /50m直線走路）

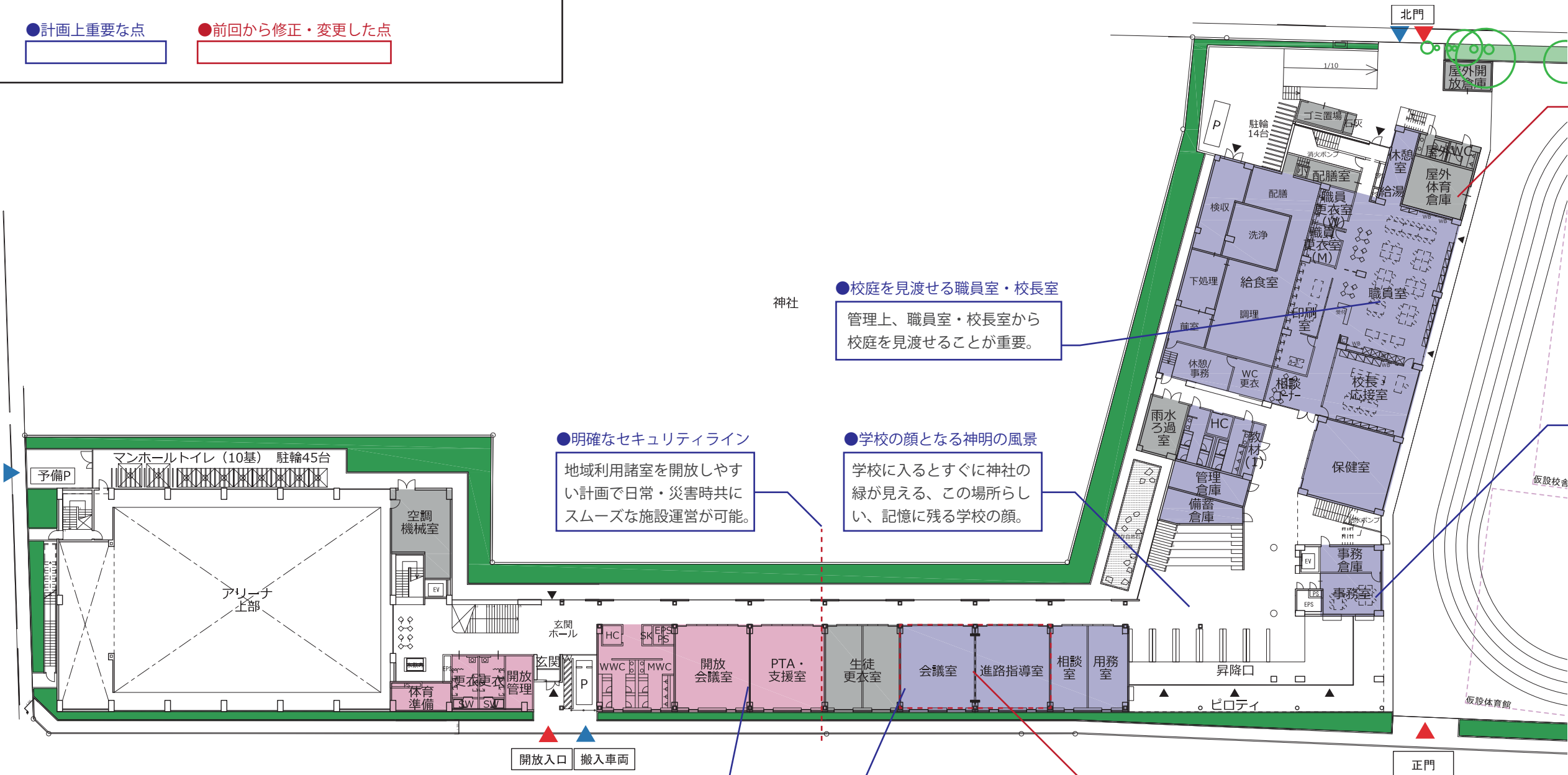
L型コンセプト

- 【配置】
- ・既存の神明中の配置と同じL型に校舎を配置
 - ・校庭に終日日影を落とさない、明るく使いやすい校庭を実現する校舎配置
 - ・校舎から神社の緑を感じられる神明らしい校舎配置

- 【平面】
- ・管理諸室を敷地の中央に配置し、校舎、校庭共の管理・監視しやすい配置
 - ・階ごとに、1F 管理・地域、2F 特別教室、3,4F 普通教室を明快にゾーニング
 - ・学年ごとのまとまりと、他学年エリアを通らなくても教室移動が可能な配置
 - ・普通教室エリアを3.4Fにまとめ、将来的に特別教室を地域開放エリアにしやすい配置

凡例

- 計画上重要な点
- 前回から修正・変更した点



●校庭の広さを重視
校庭を広げられるよう
屋外倉庫等を校舎側に
整備。

●校庭を見渡せる職員室・校長室
管理上、職員室・校長室から
校庭を見渡せることが重要。

●見渡しの良い事務室
校庭と正門・昇降口
を見渡し可能な配置。

●明確なセキュリティライン
地域利用諸室を開放しやす
い計画で日常・災害時共に
スムーズな施設運営が可能。

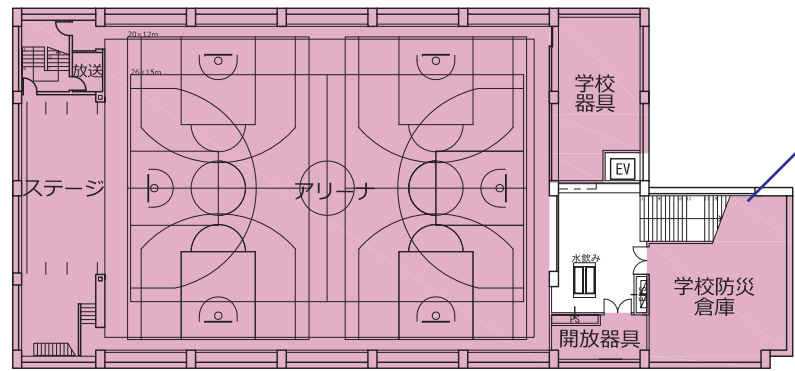
●学校の顔となる神明の風景
学校に入るとすぐに神社の
緑が見える、この場所らし
い、記憶に残る学校の顔。

●まとまった地域利用諸室
体育館を含めて地域利用が
ある諸室を西側に配置。

●避難時・将来対応
地域エリアの近くには
フレキシブルに用途を
変更しやすい室を配置。

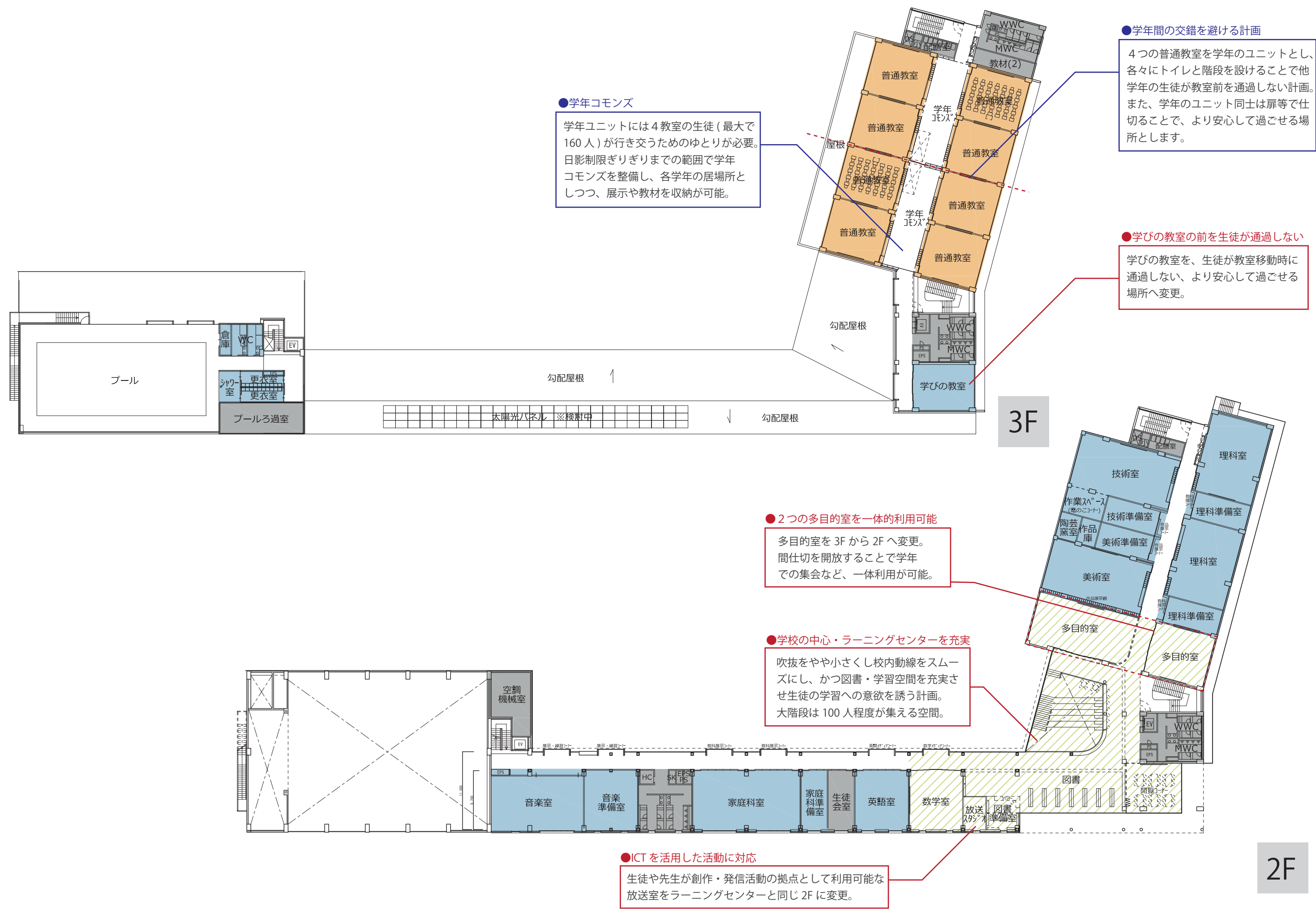
●大会議室としても使える
2室間を可動の間仕切とし
大会議室として利用可能に。

1F



●防災倉庫は体育館階
体育館との連携を考慮し
防災倉庫は同じフロア。

B1F



●学年コモンズ
 学年ユニットには4教室の生徒(最大で160人)が行き交うためのゆとりが必要。日影制限ぎりぎりまでの範囲で学年コモンズを整備し、各学年の居場所としつつ、展示や教材を収納が可能。

●学年間の交錯を避ける計画
 4つの普通教室を学年のユニットとし、各々にトイレと階段を設けることで他学年の生徒が教室前を通過しない計画。また、学年のユニット同士は扉等で仕切ること、より安心して過ごせる場所とします。

●学びの教室の前を生徒が通過しない
 学びの教室を、生徒が教室移動時に通過しない、より安心して過ごせる場所へ変更。

●2つの多目的室を一体的利用可能
 多目的室を3Fから2Fへ変更。間仕切を開放することで学年での集会など、一体利用が可能。

●学校の中心・ラーニングセンターを充実
 吹抜をやや小さくし校内動線をスムーズにし、かつ図書・学習空間を充実させ生徒の学習への意欲を誘う計画。大階段は100人程度が集える空間。

●ICTを活用した活動に対応
 生徒や先生が創作・発信活動の拠点として利用可能な放送室をラーニングセンターと同じ2Fに変更。

3F

2F

